

ストレージ診断カルテ セットアップガイド

1章 概 要

2章 インストール

3章 アンインストール

4章 アップデート

目 次

目 次	2
表 記	3
本文中の記号	3
外来語のカタカナ表記	3
オペレーティングシステムの表記	3
商 標	3
本書に関する注意と補足	4
最新版	4
1 章 概 要	5
1. はじめに	6
2. ユーザサポート	7
3. 動作環境	8
2 章 インストール	9
1. インストール	10
Web 公開物件からセットアッププログラムを起動する方法	10
セットアッププログラムの実行	11
インストール時のエラーの対処	15
エラーメッセージ一覧	15
エラー発生時の対処	15
インストール状態の確認	16
プログラムのインストール確認	16
タスクスケジューラへのタスク登録確認	17
2. NEC ストレージログ収集モジュール 初期設定	18
3. NEC ストレージログ収集モジュール 設定ファイル	18
4. タスクトリガー条件の変更	19
3 章 アンインストール	21
1. NEC ストレージログ収集モジュール アンインストール	22
4 章 アップデート	23
1. アップデート	24

表 記

本文中の記号

本書では3種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味をもちます。

	ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。
	ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならないことについて示しています。
	知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。

外来語のカタカナ表記

本書では外来語の長音表記に関して、国語審議会の報告を基に告示された内閣告示に原則準拠しています。ただし、OS やアプリケーションソフトウェアなどの記述では準拠していないことがあります。誤記ではありません。

オペレーティングシステムの表記

本書では、Windows オペレーティングシステムを次のように表記します。

本書の表記	Windows OSの名称
Windows Server 2022	Windows Server 2022 Standard
	Windows Server 2022 Datacenter
	Windows Server 2022 Essentials
Windows Server 2019	Windows Server 2019 Standard
	Windows Server 2019 Datacenter
	Windows Server 2019 Essentials
Windows Server 2016	Windows Server 2016 Standard
	Windows Server 2016 Datacenter
	Windows Server 2016 Essentials

商 標

ESMPRO は日本電気株式会社の登録商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
なお、本文には登録商標や商標に(TM)、(R)マークは記載しておりません。

本書に関する注意と補足

1. 本書の一部または全部を無断転載することを禁じます。
2. 本書に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可なく複製、改変することを禁じます。
4. 本書について誤記、記載漏れなどお気づきの点があった場合、お買い求めの販売店まで連絡してください。
5. 運用した結果の影響については、4 項に関わらず弊社は一切責任を負いません。
6. 本書の説明で用いられているサンプル値は、すべて架空のものです。

この説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いてください。

最新版

本書は作成日時点の情報をもとに作られており、画面イメージ、メッセージ、または手順などが実際のものと異なることがあります。変更されているときは、適宜読み替えてください。

ストレージ診断カルテ

1

概要

ストレージ診断カルテについて説明します。

1. はじめに

2. ユーザサポート

ソフトウェアに関する不明点、お問い合わせ先について説明しています。

3. 動作環境

ストレージ診断カルテが動作する環境について説明しています。

1. はじめに

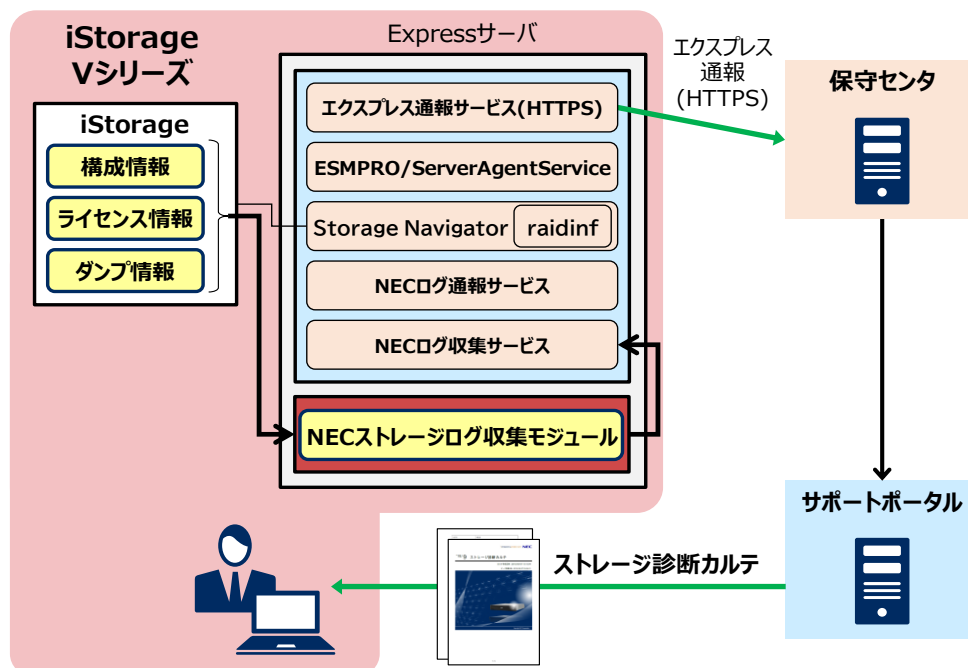
本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書の内容は、OS の機能、操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。

OS に関する操作、不明点については、Windows ヘルプ オンラインなどをご確認ください。

ストレージ診断カルテは、動作中のストレージの構成情報に加え、ライセンス情報、各種ログ情報（ハードウェアログ/ストレージ制御ソフトログ）といった情報を定期的に採取し、

エクスプレス通報サービス(HTTPS)を用いて保守センタに通報して、システムの稼働状況を可視化することで現状のIT資産の活用度を把握できるほか、不具合があるパーツの買い替えや、適切なリソース増強時期などをスムーズに判断でき、より安定したシステム運用を可能にします。



保守センタへ通報するためには、エクスプレス通報サービス(HTTPS)(マネージャ経由含む)による通報手段が有効であることが必要です。無効の場合は通報しません。

エクスプレス通報サービス(HTTPS)のご契約の詳細については、以下のWebをご確認ください。

NEC ビジネスPC/PC サーバ お客様登録

<http://acc.express.nec.co.jp/Main/main.asp>

エクスプレス通報サービス(HTTPS)は最新版を使用することを推奨します。

エクスプレス通報サービス(HTTPS)の設定方法はEXPRESSBUILDER DVD やStarter Pack に格納、またはWeb に公開しているドキュメントを参照してください。

NEC サポートポータル

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124>

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS) インストレーションガイド(Windows 編)

2. ユーザサポート

ソフトウェアに関する不明点は、お買い上げの弊社販売店、最寄りの弊社までお問い合わせください。
インターネットでも情報を提供しています。

[NEC コーポレートサイト]

製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。

<http://jpn.nec.com/>

ストレージ診断カルテの内容・参照方法に関するお問い合わせ先

karute-tech@istorage.jp.nec.com

3. 動作環境

ストレージ診断カルテが動作するハードウェア/ソフトウェア環境は、次のとおりです。



M シリーズの NEC ストレージログ収集モジュールをインストールしている場合、
M シリーズのログ収集モジュールをアンインストール後に V シリーズの
NEC ストレージログ収集モジュールのインストールを実施してください。

● ハードウェア

- メモリ 1.0GB 以上
- ハードディスクドライブの空き容量 3.0GB 以上
(収集したログを保存する領域を含めます)

● ソフトウェア

以下のいずれかの OS

- Windows Server 2016(x64)
- Windows Server 2019(x64)
- Windows Server 2022(x64)

必須ソフトウェア

- ESMPRO/ServerAgentService Ver.2.00 以上
- エクスプレス通報サービス(HTTPS) Ver3.9 以上
- NEC ログ通報サービス
- NEC ログ収集サービス Ver.1.00 以上
- Storage Navigator
 - ・ V100/V300 の場合
Ver 93-05-1-40/06 以上
(※)Dump 収集機能を有効にするには Ver 93-06-21-40/00 以上が必要です。
 - ・ V10e の場合
Ver 88-08-10-20/00 以上
- raidinf Ver 01-02-03/14 以上
- Redistributable for Visual Studio 2019(x86) Ver14.24.28127.4 以上 (※)

(※) Redistributable for Visual Studio 2019(x86) (再頒布可能パッケージ) の旧 Ver が

すでにインストール済みの場合、新バージョンをインストールしても旧バージョンは
インストールされたままの状態になります。(旧バージョンが新バージョンにアップデート
されることはありません)

ストレージ診断カルテの NEC ストレージログ収集モジュールのインストールについて説明します。

1. インストール

インストール手順について説明しています。

2. NECログ収集サービス 設定ファイル

NECストレージログ収集モジュールをインストールした後に必要な設定について説明しています。

3. タスクトリガー条件の変更

NECストレージログ収集モジュールのタスクトリガー条件の変更方法について説明しています。

1. インストール

NEC ストレージログ収集モジュールをインストールする手順を説明します。



NEC ストレージログ収集モジュールのインストール後は、
必ずシステムを再起動してください。

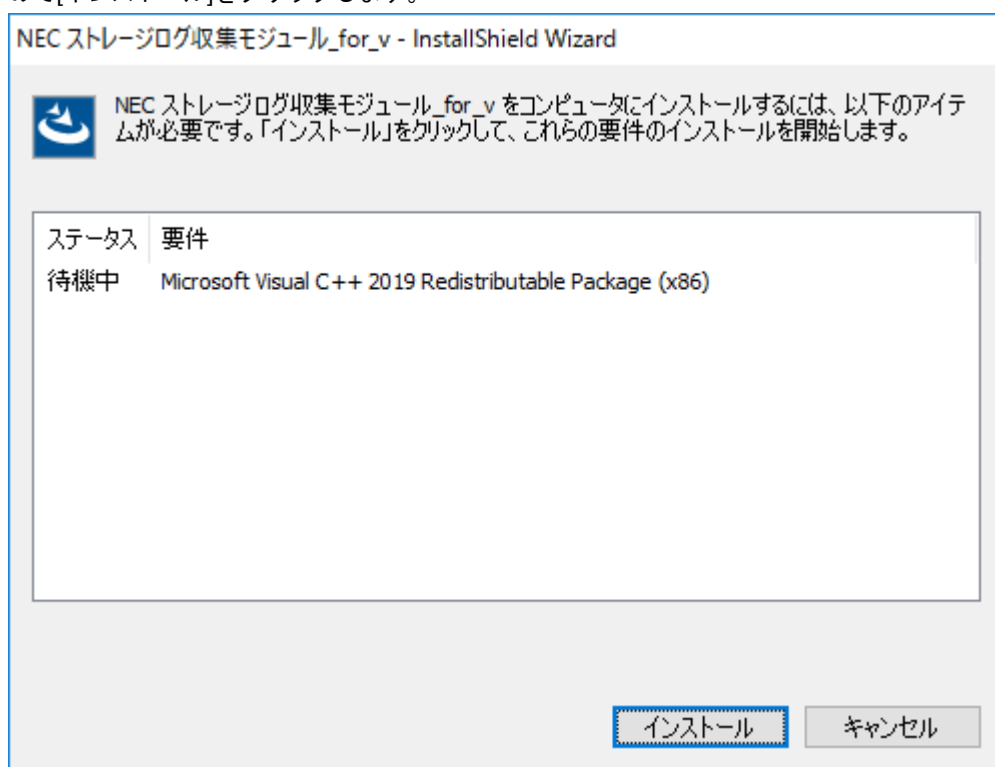
Web 公開物件からセットアッププログラムを起動する方法

1. ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)で、サインイン (ログイン)します。
2. Web 公開されているセットアッププログラムをダウンロードして解凍します。
ダウンロードした IIoT_Collect_for_v.zip を任意のフォルダーに格納し、解凍してください。
3. IIoT_Collect_for_v.zip のセットアッププログラム「setup.exe」を
ダブルクリックします。
NEC ストレージログ収集モジュールのセットアップウィンドウが起動します。

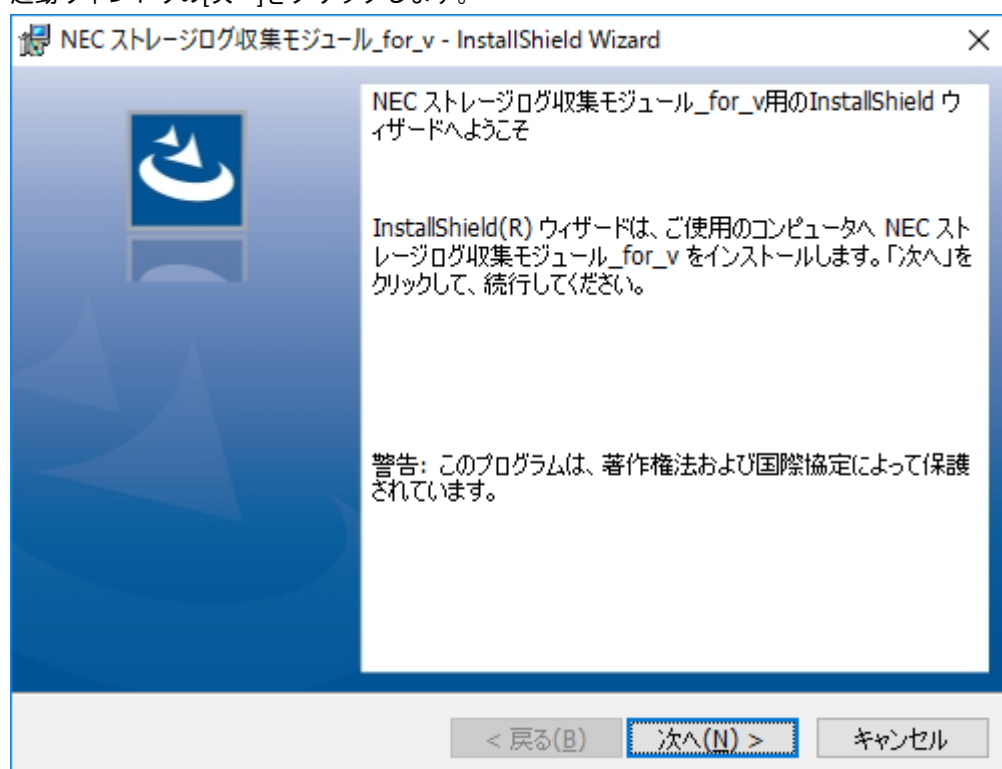
セットアッププログラムの実行

セットアッププログラムのウィンドウに従って、インストールしてください。

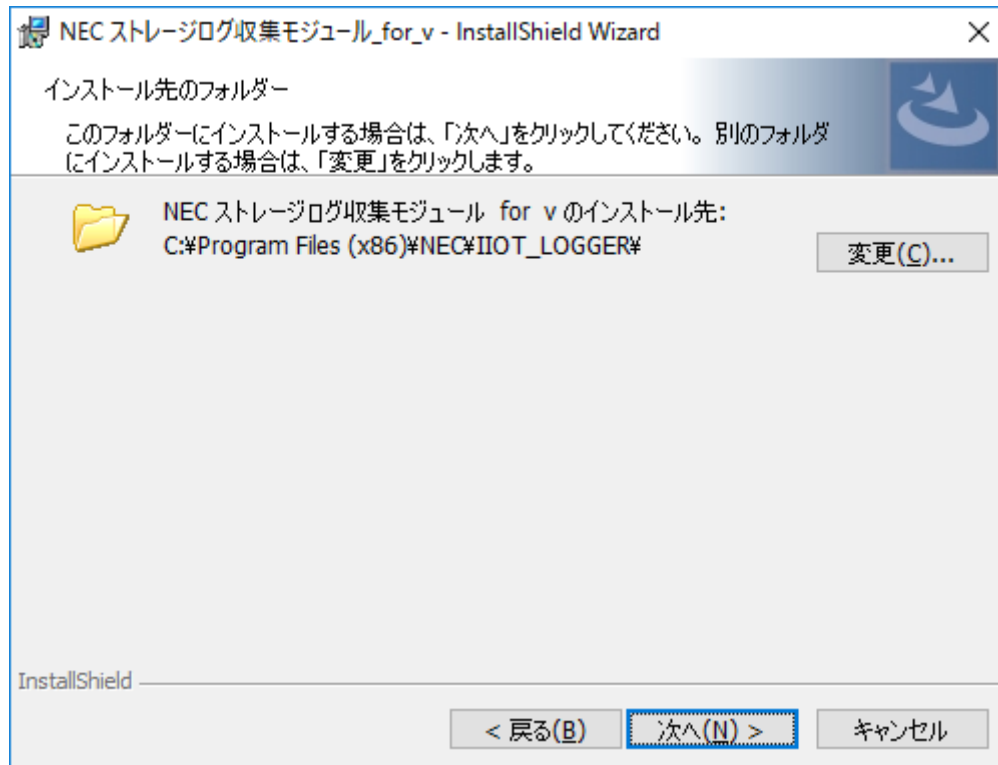
1. 再頒布可能パッケージがインストール済みの場合、このウィンドウは表示されないため 2 の処理から始めてください。再頒布可能パッケージが未インストールの場合は本ウィンドウが起動されますので[インストール]をクリックします。



2. 起動ウィンドウの[次へ]をクリックします。



3. インストール先を選択します。デフォルトのインストールフォルダーから変更する場合は[変更]をクリックします。フォルダーの選択後に[次へ]をクリックします。



重要

インストールフォルダーを変更する際、インストール先フォルダー名には、以下の文字を指定できます。

- ・半角英数字
- ・半角スペース
- ・「-」(ハイフン)
- ・「_」(アンダーバー)

上記以外の文字を指定すると、インストールが失敗、または、ログ収集処理が失敗するなど誤動作することがあります。

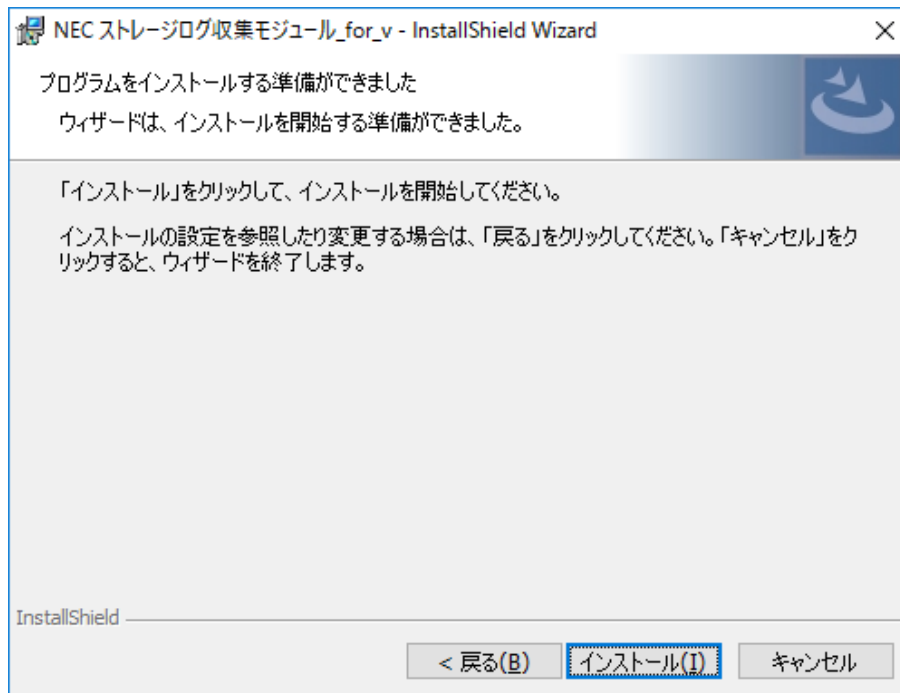


チェック

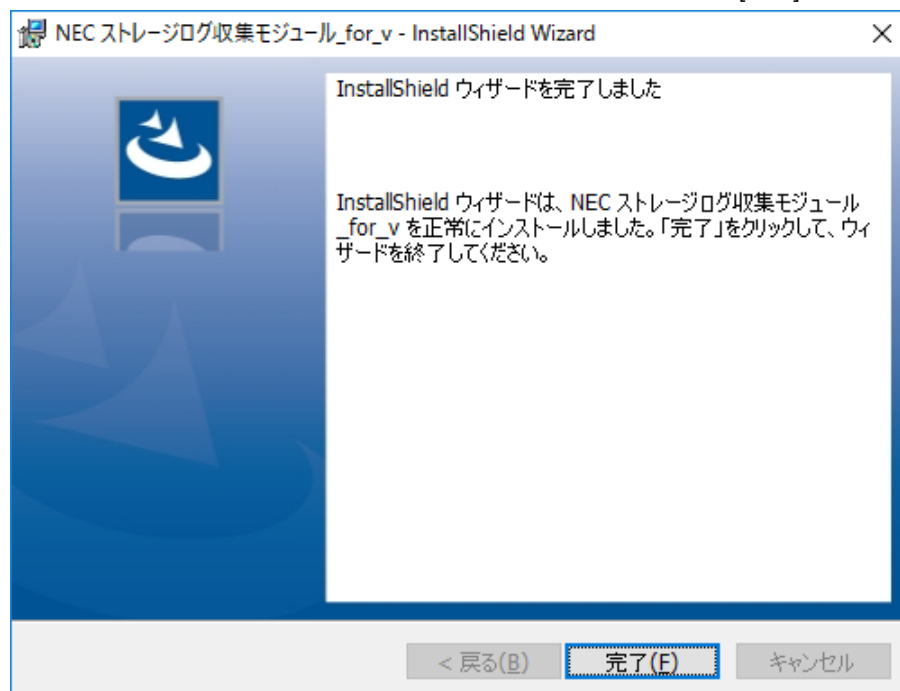
インストールフォルダー配下に、ストレージの情報を採取します。

「1 章 3. 動作環境」に記載の空き容量が確保されているハードディスクのフォルダーを指定してください。

4. インストールを開始します。[インストール]をクリックします。



5. NEC ストレージログ収集モジュールのインストールが完了しました。[完了]をクリックします。



NEC ストレージログ収集モジュールのインストール後は、必ずシステムを再起動してください。

以上でインストールは終了です。

インストール時のエラーの対処

NEC ストレージログ収集モジュールのインストール時にエラーが発生した場合の対処方法を示します。エラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

エラーメッセージ一覧

- セットアップは管理者権限で実行してください。
管理者権限がない場合のエラーです。管理者でログインし直して再度実行してください。
- この種類へのプロセッサでサポートされていません。
サポート対象外の OS で実行した場合のエラーです。サポート OS は、「1 章 3. 動作環境」を参照してください。
- 上記以外のエラーが発生した場合は、サポートセンタに連絡してください。

エラー発生時の対処

- エラー要因を排除後、インストーラを再実行してください。その場合、いったんアンインストールを要求された際は、アンインストール後に再実行してください。

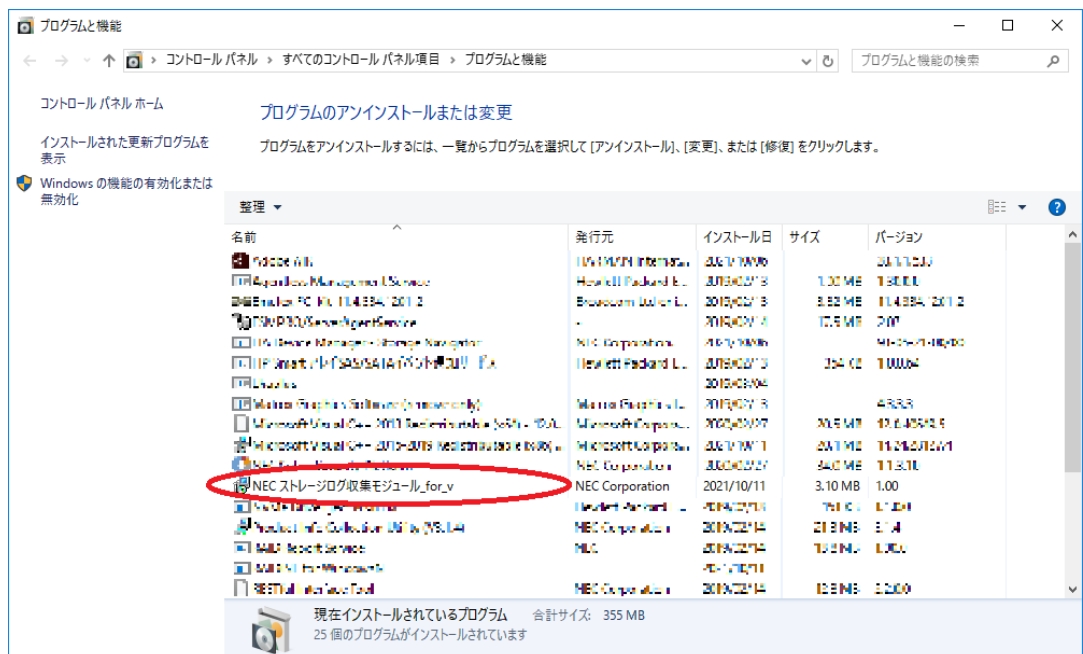
インストール状態の確認

NEC ストレージログ収集モジュールがインストールされているか確認するには、以下の 2 つの手順(プログラムのインストール確認、および、タスクスケジューラへのタスク登録確認)をいずれも確認してください。

プログラムのインストール確認

NEC ストレージログ収集モジュールがインストールされているか確認するには、以下の手順に従ってください。

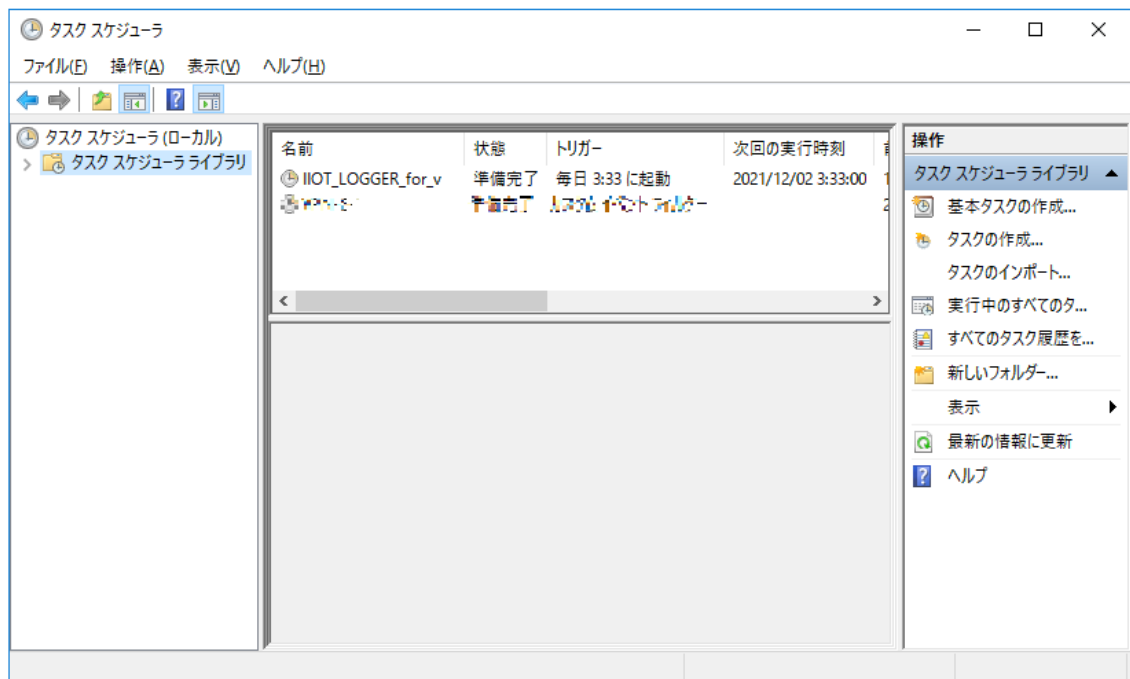
1. コントロールパネルの「プログラムと機能」をクリックします。
2. 「プログラムと機能」に「NEC ストレージログ収集モジュール_for_v」が表示されていることを確認します。



タスクスケジューラへのタスク登録確認

NEC ストレージログ収集モジュールがタスクスケジューラに登録されているか確認するには、以下の手順に従ってください。

1. スタートメニュー⇒Windows 管理ツールを開きます。
2. タスクスケジューラを起動しタスクスケジューラライブラリを開きます。
3. IIOT_LOGGER_for_v タスクが表示され、状態が「準備完了」となっていることを確認します。



2. NEC ストレージログ収集モジュール 初期設定

NEC ストレージログ収集モジュールをインストール後に初期設定を行う手順を説明します。
初期設定は、インストールフォルダーの watch_for_v.ini に必要な情報を記述します。



「保守（ベンダ専用）」ロールを持つユーザアカウントのパスワード変更を実施した場合は本初期設定が必要になります。

「保守（ベンダ専用）」ロールを持つユーザアカウントのユーザ名とパスワードを事前に準備してください。

1. ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)でサインイン(ログイン)します。
2. インストールフォルダーの watch_for_v.ini ファイルをテキストエディタで開きます。
3. user=の後に、「保守（ベンダ専用）」ロールを持つユーザアカウントのユーザ名を記述します。
4. password=の後に、「保守（ベンダ専用）」ロールを持つユーザアカウントのパスワード（3のユーザのパスワード）を記述します。
5. 変更内容を保存して、テキストエディタを閉じます。

3. NEC ストレージログ収集モジュール 設定ファイル

NEC ストレージログ収集モジュールは設定ファイルによって、ログ収集の設定を変更できます。

設定ファイルは、インストールフォルダーの watch_for_v.ini です。設定ファイルの変更が必要な場合は、ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)でサインイン(ログイン)してテキストエディタで編集してください。

設定した値が設定可能値の範囲外の場合、もしくはプロパティを削除した場合は既定値で動作します。



start_collection、dump_collection、log_life_time のプロパティ値は、サービス提供元から指定があった場合のみ変更します。

プロパティ	設定可能値	説明	既定値
start_collection	on, off	ログ収集の要否全体を指定	on
dump_collection	on, off	dump 収集の要否を指定 (※) Storage Navigator が Ver 93-06-21-40/00 未満の場合は on 設定値でも機能未対応のため dump 収集は行いません。	on
log_life_time	1-10	ローカルディスクへのログデータファイル保持世代数(日数)を指定	3
user	半角英数字 次の記号 - . @ _	「保守（ベンダ専用）」ロールを持つユーザアカウントのユーザ名を指定	なし
password	半角英数字 次の記号 - . : @ _	「保守（ベンダ専用）」ロールを持つユーザアカウントのパスワードを指定 (※) user プロパティで指定したユーザ名のパスワードを指定してください。	なし

4. タスクトリガー条件の変更

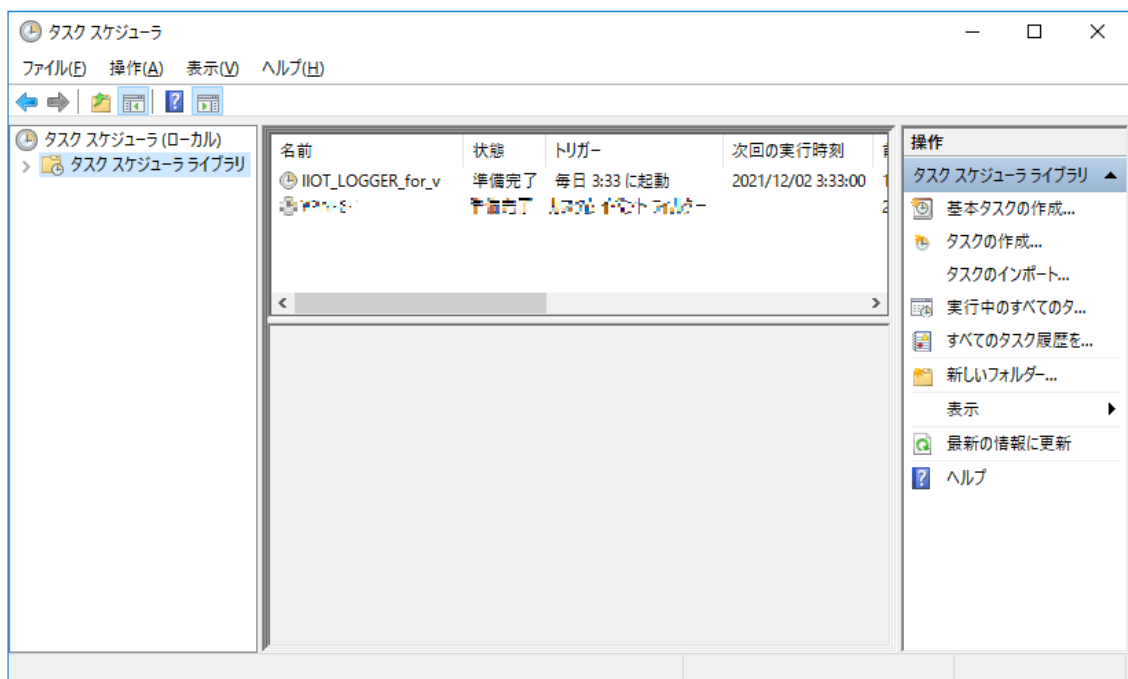
NEC ストレージログ収集モジュールのタスク開始トリガーを変更する手順を説明します。
ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)で、サインイン(ログイン)して、実施してください。



NEC ストレージログ収集モジュールはインストール時に、タスクのトリガー条件を「毎日 3:33 に起動」として設定されます。

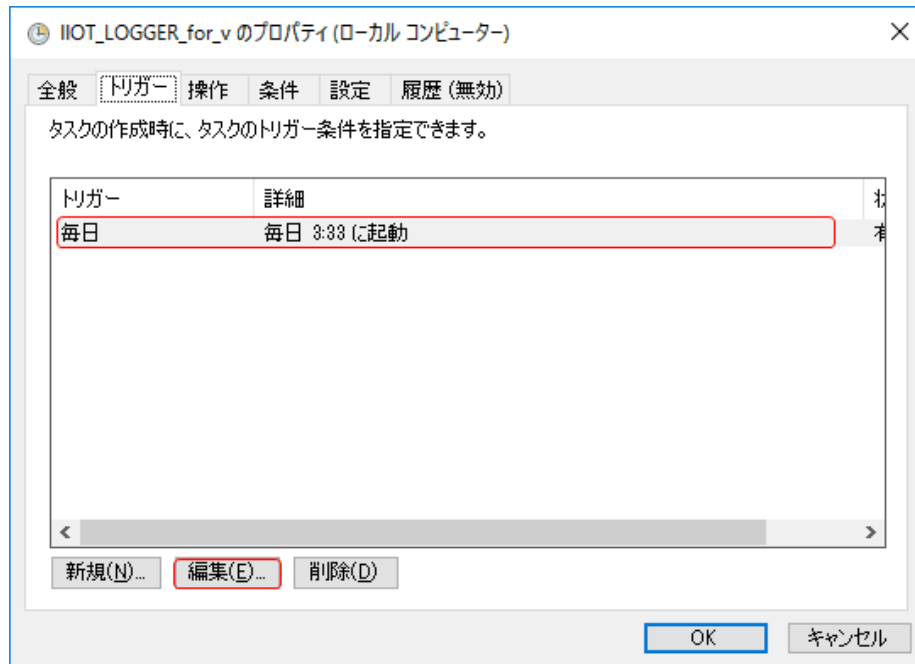
NEC ストレージログ収集モジュールをインストールしている Express サーバが 3:33 に停止する運用をしている場合は、タスク開始のトリガー条件を変更する必要があります。

1. スタートメニュー⇒Windows 管理ツールを開きます。
2. タスクスケジューラを起動しタスクスケジューラライブラリを開きます。
3. IIOT_LOGGER_for_v タスクが表示され、状態が「準備完了」となっていることを確認します。

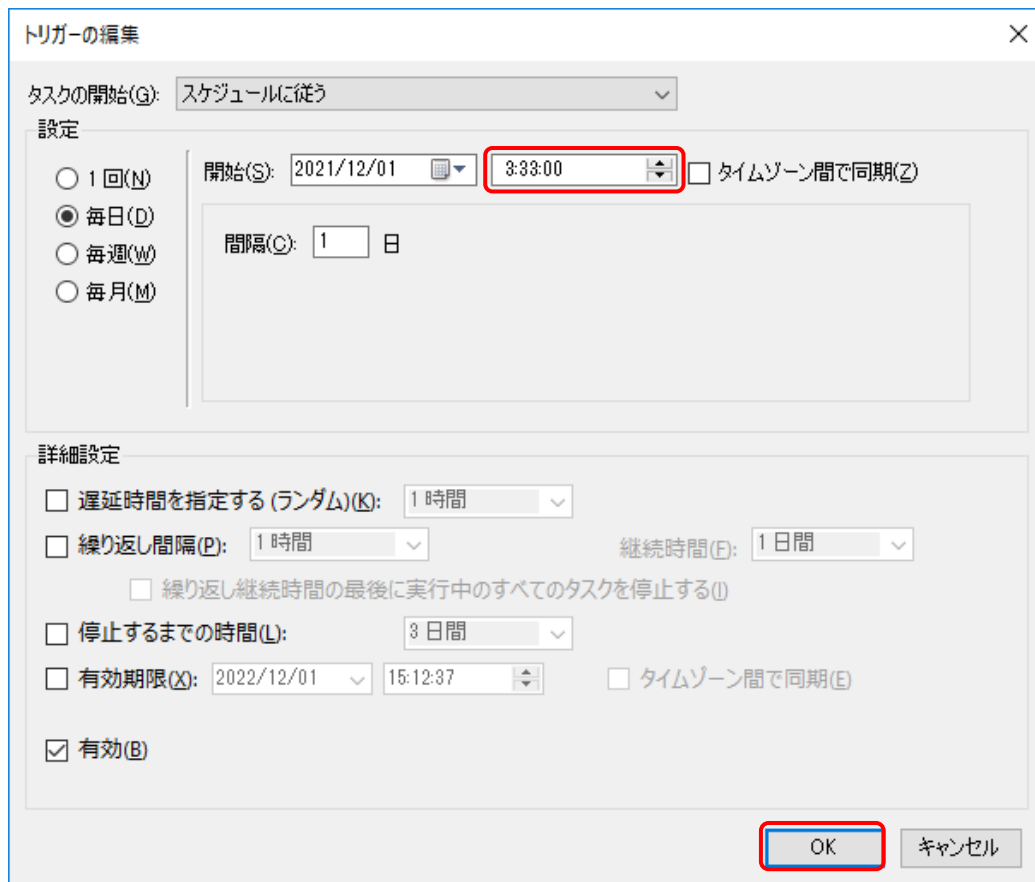


4. IIOT_LOGGER_for_v タスクを選択し、右クリック⇒プロパティを選択します。

5. IIOT_LOGGER_for_v のプロパティ画面で[トリガー]のタブを選択します。



6. トリガー：毎日、詳細：毎日 3:33 に起動、状態：有効と表示されているトリガー条件を選択し、[編集]をクリックします。
7. トリガーの編集画面が表示されるので、設定の「開始(S):」の時刻のみを変更し、[OK]をクリックします。



IIOT_LOGGER_for_v のプロパティ画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

ストレージ診断カルテ

3

アンインストール

ストレージ診断カルテのアンインストールについて説明します。

1. NECストレージログ収集モジュールアンインストール

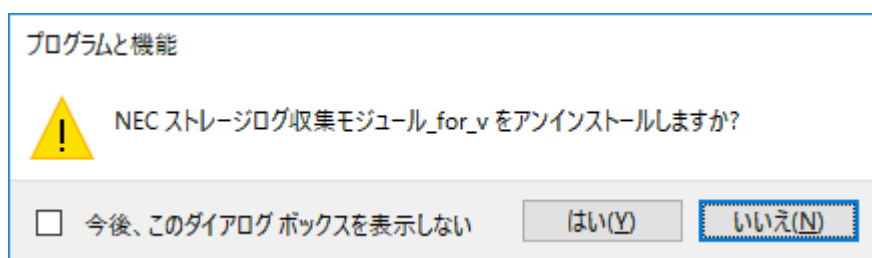
NECストレージログ収集モジュールのアンインストール手順について説明しています。

1. NEC ストレージログ収集モジュール アンインストール

NEC ストレージログ収集モジュールをアンインストールする手順を説明します。

ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)でサインイン(ログイン)して、実施してください。

1. 「コントロールパネル」の[プログラムと機能]をクリックします。
2. 「NEC ストレージログ収集モジュール_for_v」を選択して[アンインストール]をクリックします。
3. アンインストールの実行を確認するウィンドウで、[はい]をクリックします。



アンインストール後にインストールフォルダーにファイルが残る場合があります。
削除する場合はシステムを再起動後に手動で削除してください。

以上でアンインストールは終了です。

アップデート

ストレージ診断カルテのアップデートインストールについて説明します。

1. アップデート

アップデートインストール手順について説明しています。

1. アップデート

ストレージ診断カルテでは、NEC ストレージログ収集モジュールのアップデートを行う場合、古いバージョンをいったんアンインストールした後に、新しいバージョンのセットアッププログラムを用いて再度インストールを行う必要があります。NEC ストレージログ収集モジュールのアップデートを行う手順を説明します。

ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)でサインイン(ログイン)して、実施してください。

1. 「3 章 1. NEC ストレージログ収集モジュール アンインストール」を参照して NEC ストレージログ収集モジュールのアンインストールを行います。



NEC ストレージログ収集モジュールの設定ファイルを変更している場合は、アンインストールを行う前に、設定ファイルを任意のフォルダーに保存してください。
設定ファイルはインストールフォルダーの watch_for_v.ini です。



NEC ストレージログ収集モジュールではインストールフォルダーの rawdata フォルダーと release フォルダーに採取した情報が格納されます。アンインストール後に rawdata フォルダーと release フォルダーにファイルが残っている場合は、rawdata フォルダーと release フォルダーは削除しないでください。

2. 「2 章 1. インストール」に記載の「セットアッププログラムの実行」を参照してインストールを行います。



NEC ストレージログ収集モジュールの設定ファイルを変更している場合は、アンインストール前に保存した設定ファイルをインストールフォルダーの watch_for_v.ini に書き込んでください。

ストレージ診断カルテ
セットアップガイド

日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

©NEC Corporation 2025

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。